

サ ッ カ ー

専門委員長 村山孝博



【男子】

今年度の結果を振り返ってみると新人戦、総体、選手権、いずれの大会も徳島市立が優勝し3冠を達成した。

1月に行われた新人戦は第2シードの徳島市立と鳴門渦潮の決勝となった。終始、優勢に試合を進めた徳島市立が4-0

で勝利した。

5月～6月に行われた県総体は徳島市立と徳島科学技術の決勝となった。前半から優位に試合を進めた徳島市立が4-0で勝利し優勝した。優勝した徳島市立と準優勝の徳島科学技術は7月に行われた地元、徳島インターハイに出場、いずれも2回戦からの登場となったが、徳島市立は矢板中央（栃木）に、徳島科学技術は関大北陽（大阪）に敗退し、地元インターハイでの躍進はならなかった。

10月～11月にかけて行われた高校サッカー選手権予選は第1シードの徳島市立とノーシードの徳島商業が勝ち上がり、2年連続となる伝統校同士の決勝での対戦となった。前半は両チームともロングボールを多用し0-0でハーフタイムを迎えた。後半に入り中盤で丁寧なゲームを組み立て始めた徳島市立が優勢に試合を進めると、後半2分、7分と立て続けに得点し終わってみれば6-0で勝利し、昨年の雪辱を果たした。

2年ぶりの全国大会出場となった徳島市立は12月29日に行われた1回戦で福島県代表の尚志高校と対戦、前半立ち上がりから尚志高校の効果的なサイド攻撃に手を焼く徳島市立は11分、ゴール前でこぼれ球を押し込まれて先制を許す。劣勢の徳島市立は選手交替で流れを変えようとするもなかなか効果的な攻撃には結びつかず前半を0-1で終える。後半に入ってさらに圧力を強める尚志高校に対し、粘り強いディフェンスでなんとか攻撃の糸口を見いだしたい徳島市立であったが後半30分、33

分と立て続けに追加点を奪われ結局0-3で初戦敗退となった。

さて、51年ぶりの徳島県開催となった令和4年度の全国高等学校総合体育大会サッカー競技は、新型コロナウイルス第7波の中、開催されました。多くの先生方や生徒のみなさんご協力のおかげで、無事終了することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

【女子】 執筆（徳島市立高・松本）

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながらの活動となった。

6月の県総体では、今年度も鳴門渦潮が他を圧倒し優勝した。そして、四国総体も制したことで、本県で行われる全国総体に鳴門渦潮と徳島商業が出場することとなった。全国総体では、徳島商業は初戦で敗退したが、鳴門渦潮は優勝候補の藤枝順心に競り勝ち大きな1勝を挙げた。2回戦では、日ノ本学園に惜しくも敗れたが、互角の戦いを見せ、本県で行われた全国総体を盛り上げた。9月の県総体では、鳴門渦潮が圧倒的な力で優勝し、11連覇となった。続く四国選手権は、鳴門渦潮と徳島市立が出場した。徳島市立は初戦で敗退した。鳴門渦潮は決勝までは危なげなく勝ち進んだが、四国学院大学香川西にPKで敗れ優勝を逃した。しかしながら、四国第二代表として11年連続11回目の全国高校選手権の出場を決めた。全国総体での経験を活かし、さらなる躍進に期待したい。

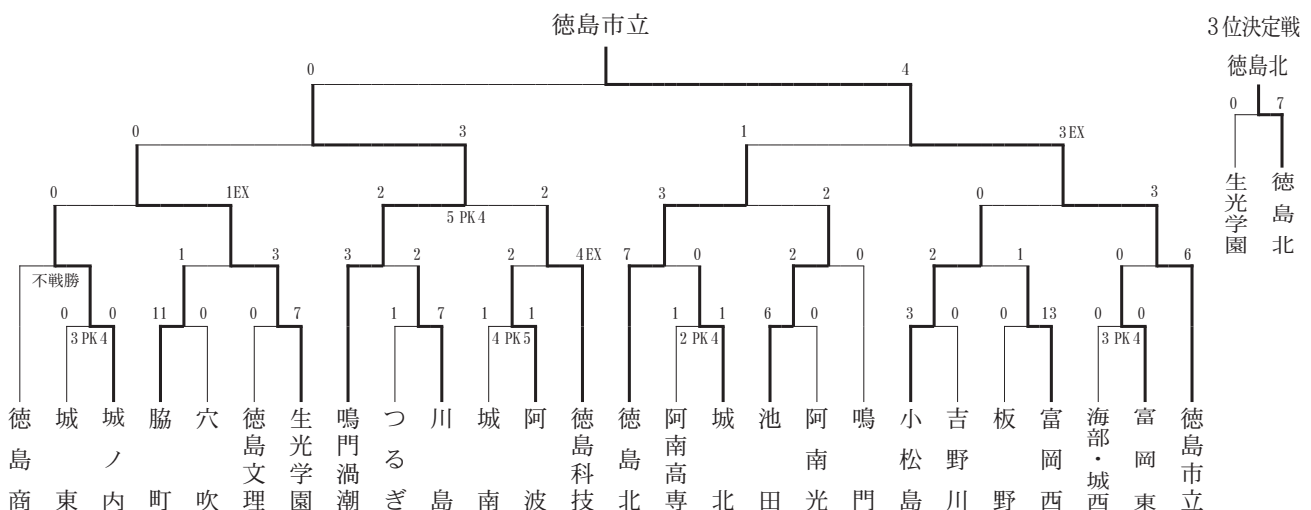
本県では、女子サッカーの普及や強化を各年代と連携し進めている。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、思うような活動ができていない現実もある。また、高校女子では、人数不足が深刻な問題となっている。日々の練習や公式戦などに苦勞しているチームも複数ある。難しい課題ではあるが打開策を模索していきたい。今年度は、県選手権で観戦が可能になり徐々にではあるが以前の状態に戻りつつある。しかし、まだまだ予断の許さない状況である。このような状況であるが、女子サッカーを盛り上げていけるよう、協力して取り組んで行きたい。

【男子】

◎令和3年度 第77回徳島県高校サッカー新人大会

令4. 1. 15・16・22・23・29

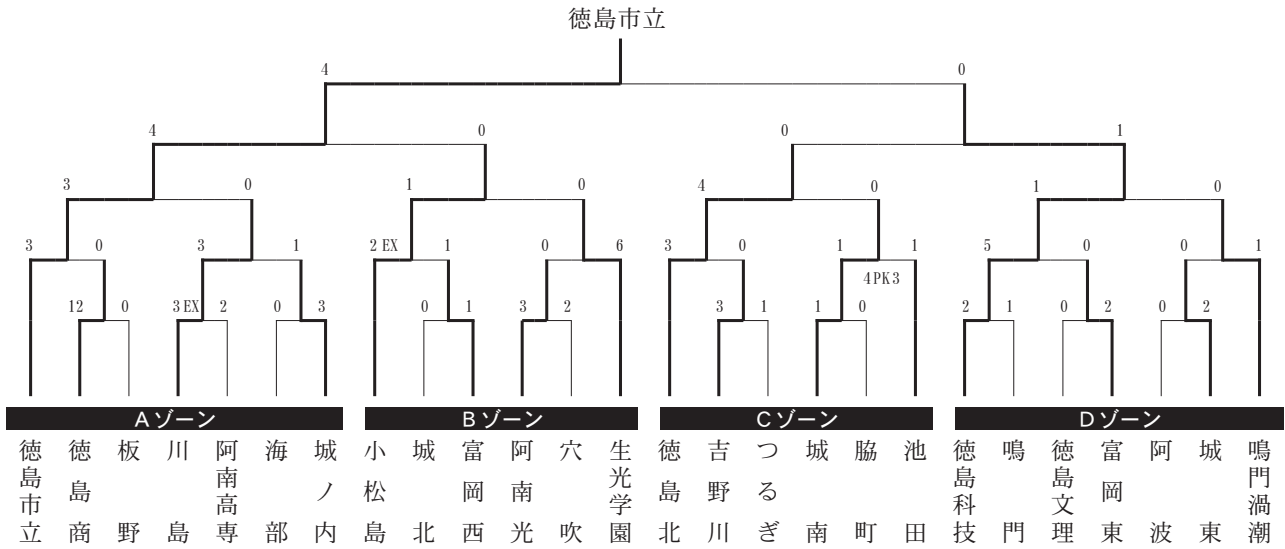
於 徳島スポーツビレッジ 他



◎令和4年度 徳島県高校総合体育大会サッカー競技（男子）

令4. 5. 28・29, 6. 3～6

於 ワークスタッフ陸上競技場 他

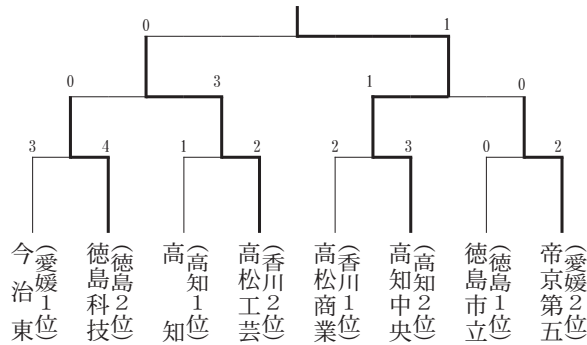


◎第71回四国高等学校サッカー選手権大会（男子）

令4. 6. 18～20

於 TSV（徳島スポーツビレッジ）
ピッチC
あわぎんスポーツガーデン

高知中央



◎令和4年度 全国高等学校総合体育大会（男子）

2回戦

令4. 7. 25 於 徳島市球技場メイン

徳島市立 1 (0 - 1) 2 矢板中央 (栃木)

2回戦

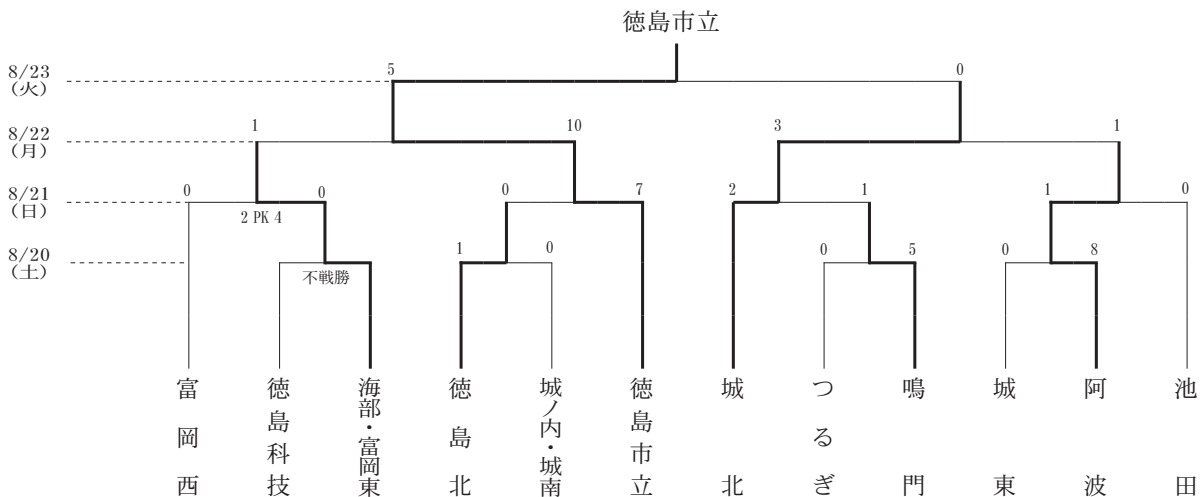
令4. 7. 25 於：鳴門・大塚スポーツパーク第2

徳島科技 0 (0 - 2) 5 関大北陽 (大阪)

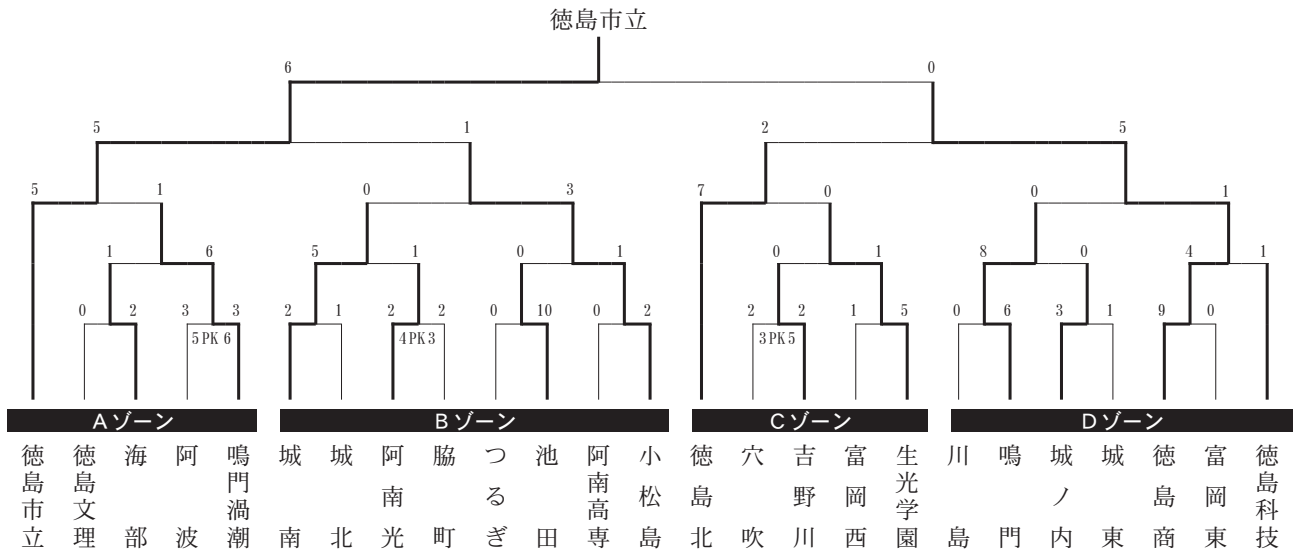
◎第33回一年生大会

令4. 8. 20～23

於 ヨコタ上桜スポーツランド 他



◎令和4年度 徳島県高校サッカー選手権大会 兼 令和4年度 第101回全国高校サッカー選手権大会徳島県予選会 令4.10.16・17・23・30, 11.6・13 於 徳島市球技場 他



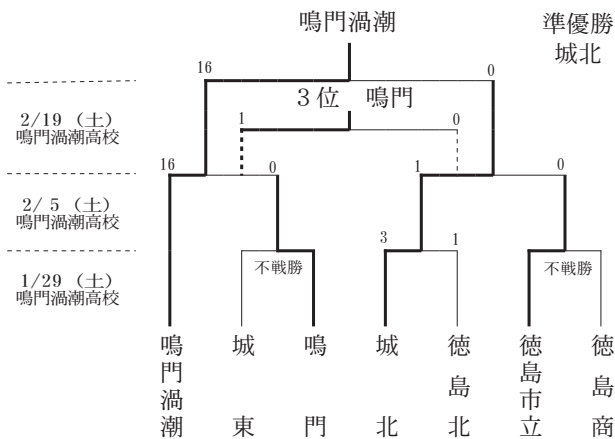
◎第101回全国高校サッカー選手権大会

1回戦 令4.12.29 於 ニッパツ三ツ沢球技場

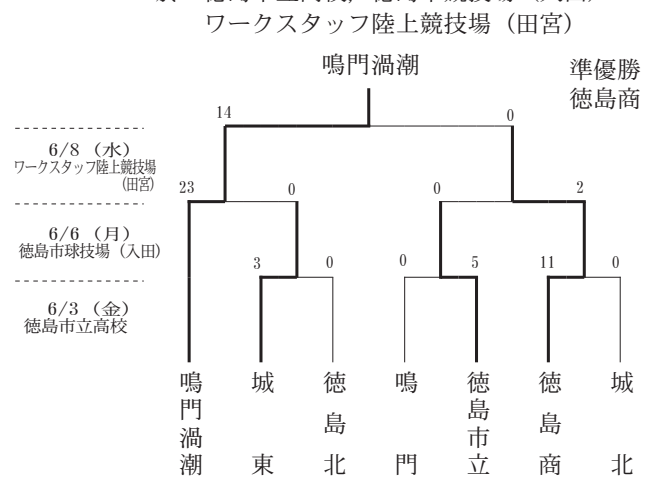
徳島市立 0 (0 - 1 / 0 - 2) 3 尚 (福島) 志

【女子】

◎令和3年度 徳島県高等学校サッカー新人大会 令4.1.29, 2.5・19 於 鳴門渦潮高校

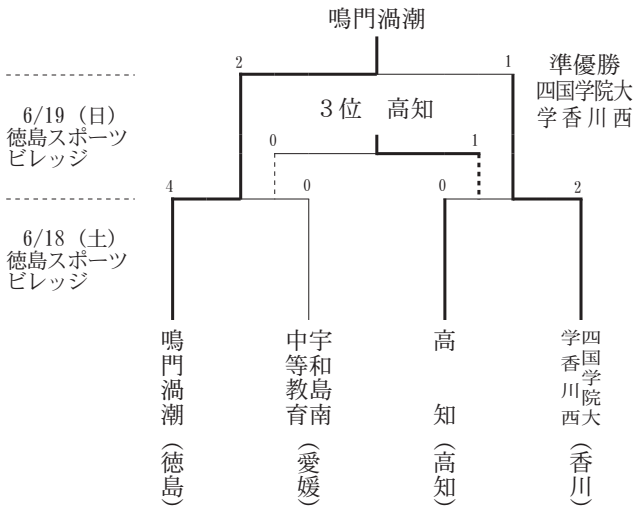


◎令和4年度 徳島県高等学校総合体育大会 令4.6.3・6・8 於 徳島市立高校, 徳島市競技場 (入田) ワークスタッフ陸上競技場 (田宮)



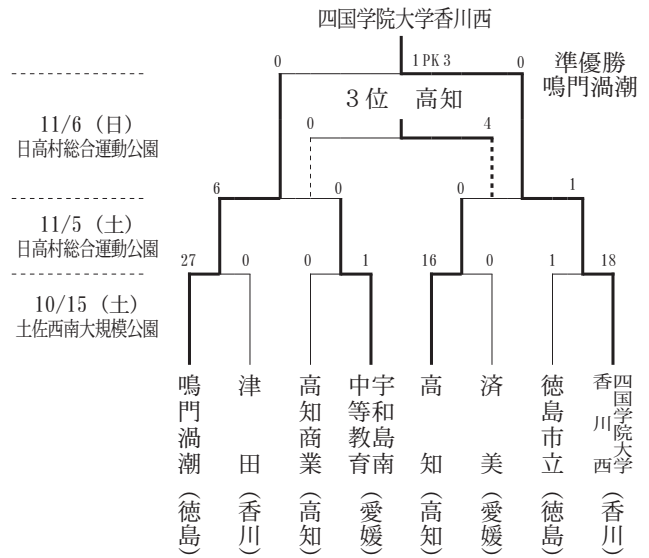
◎第10回四国高等学校サッカー選手権大会(女子)

令4.6.18・19 於 徳島スポーツヴィレッジ



◎第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会(四国大会)

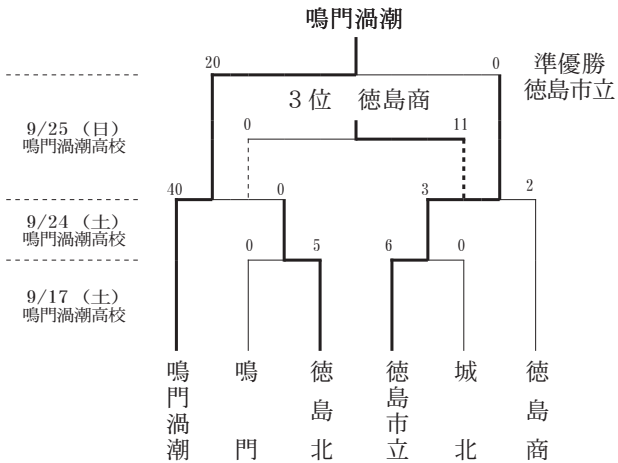
令4.10.15, 11.5・6 於 土佐西南大規模公園, 日高村総合運動公園



◎第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会(徳島大会)

令4.9.17・24・25

於 鳴門渦潮高校



◎第31全日本高校女子選手権大会

1回戦 令4.12.30

於 三木総合防災公園陸上競技場

鳴門渦潮 0 (0 - 1 / 0 - 3) 4 日ノ本学園 (兵庫)



優勝目指して
鳴門渦潮高校 1年 木ノ桐はるな



「喜々」
城東高校 1年 岡田 遙